

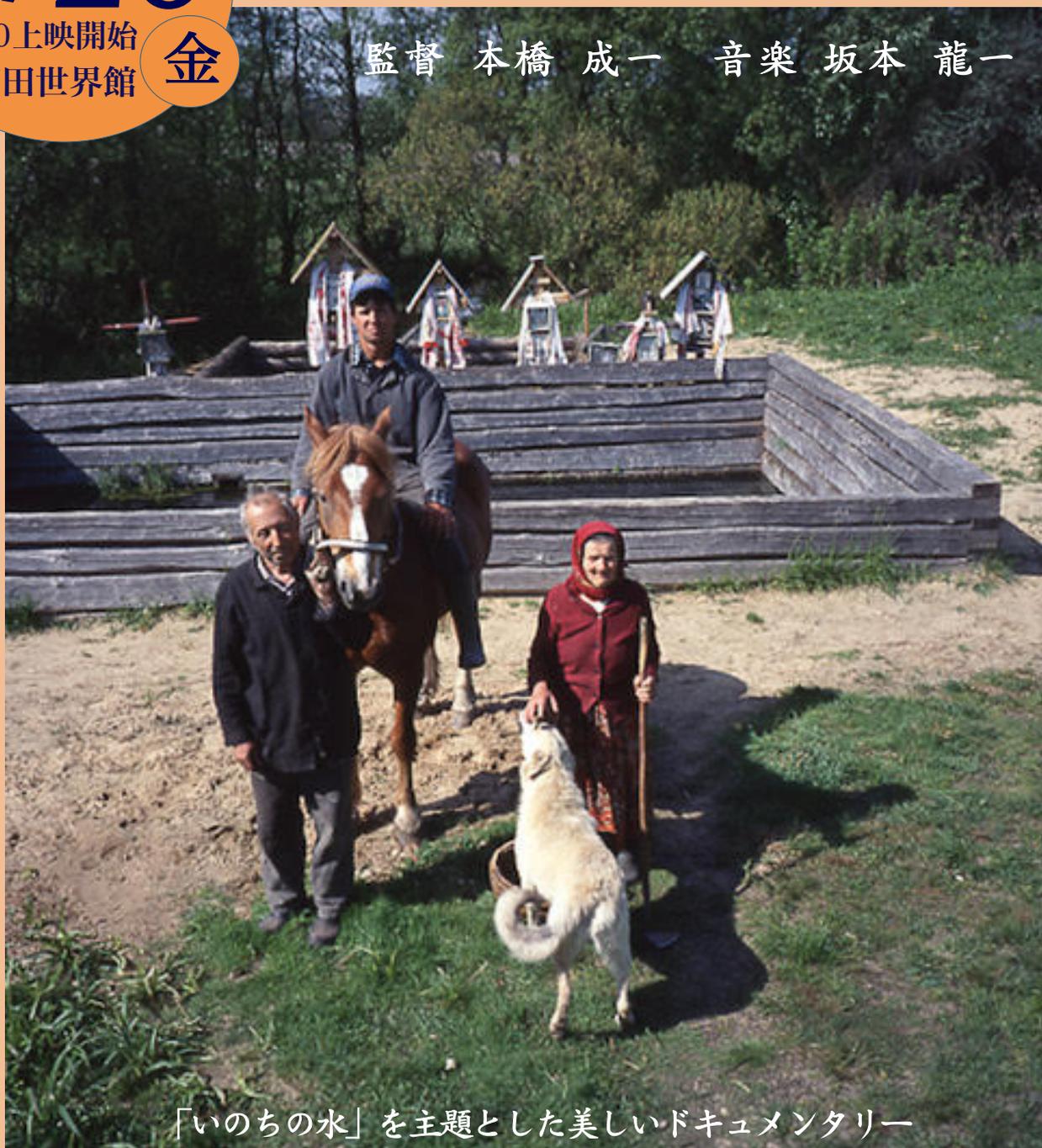
4/26

18:00 上映開始
高田世界館

金

ほんとうの ゆたかさ とは
ほんとうの しあわせ とは

監督 本橋 成一 音楽 坂本 龍一



「いのちの水」を主題とした美しいドキュメンタリー

「アレクセイと泉」特別上映会

あの日から 38 年。

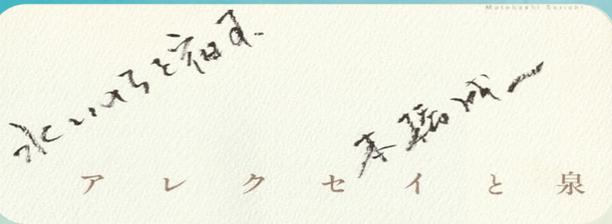
チェルノブイリ原発事故が起きました 4 月 26 日に、高田世界館にて上映会をいたします。

今回は特別に 2019 年に現地を再訪して撮られた映像作品も上映いたします。「アレクセイと泉」は坂本龍一氏の音楽を背景に、ベラルーシ共和国東部にある小さな村に暮らす 55 人のお年寄りとひとりの青年のドキュメンタリー映画です。村の中心に湧く「奇跡の泉」に見守られながら、たくましく生きる村人と動物たち。

「ほんとうの豊かさとはなにか」を問いかける映画です。

是非とも、足をお運びください。お待ちしております。

主催 「アレクセイと泉」を観る会



第52回 ベルリン国際映画祭 ベルリナー新聞賞・国際シネクラブ賞
第12回 ロシアサンクトペテルブルグ映画祭グランプリ他 多数受賞

監督：本橋成一
製作：小松原時夫、神谷さだ子
撮影：一之瀬正史
録音：弦巻裕
編集：村本勝
スチール：明石雄介
音楽：坂本龍一
製作協力 日本チェルノブイリ連帯基金
ベラルーシ共和国文化省
駐日ベラルーシ共和国大使館

2002年/カラー/ビスタサイズ/104分/DCP

配給：ポレポレタイムス社

<http://movies.poiepoietimes.jp/aixei/>

泉の水はただ美しく湧き出していた

原発事故で汚染されたあと、かつては600人が暮らしていたというこの村の住人は55人の老人とひとりの若者アレクセイだけになった。

村の力仕事を一手に引き受けるアレクセイ。泉の水を汲みながら、思いめぐらす。

「僕はどこへも行かなかった。村からどこへも……。もしかしたら、泉が僕を村にとどまらせたのかも知れない。泉の水が僕のなかに流れ、僕を支えている」

修理を終えた泉のそばに、身の丈ほどの新しい十字架がたった。水のほとりに鳥は舞い降り、草木のかげから声をあげる。

人間はこの百年、何の豊かさを求めてきたのか。チェルノブイリ、ベラルーシ、いのちの物語。

百年の水の物語



2024年4月26日(金) 新潟県上越市本町6-4-21 高田世界館

プログラム

開場 17:30

【第1部】18:00「アレクセイと泉」(2002年/104分)上映

休憩

【第2部】20:00 2019年現地再訪の映像作品(2021年/40分) 特別上映

*オンラインにて映画製作関係者による舞台挨拶あり
終了 21:00 (予定)



料金 前売 1,300円 当日 1,500円 (全席自由席)

中・高校生 800円 小学生以下無料

前売券取扱所 高田世界館(火曜定休)

お申込み・お問い合わせ hsakata2525@gmail.com(サカタ)



←こちらのQRコードから前売のお申し込みができます。

主催「アレクセイと泉」を観る会 代表 西脇 美智子 080-5696-2709 事務局 坂田 浩実 090-1611-1600
後援:上越市 上越映画鑑賞会 市民アクション・じょうえつ CAP・じょうえつ 上越農業映画祭実行委員会
上越有機農業研究会 熟慮塾 未来へたねまき隊 暮らしおぶわんだー
協力:ポレポレタイムス社 高田世界館